

地域たすけあい福祉基金「インクルファンド」のご紹介

地域たすけあい福祉基金 (インクルファンド)とは

- ◆意思あるお金の有効活用を図ることにより、市民が主体となって地域に必要なしくみを生み出すことを後押しします。
- ◆生活クラブ運動グループをはじめ多様な市民力を発揮させた「市民主体のまちづくり型福祉」を促進、豊かな地域社会づくりにつなげるために、インクルーシブ事業連合が寄付を募り、一定の割合をインクルファンドに積み立て助成をします。



基金に積み立てたお金は こんなふうに使われます

地域福祉やたすけあいの活動・事業の立ち上げや継続の支援。

インクルーシブ地域社会づくりに共感し、非営利・協同セクターの拡充に向けて地域福祉の活動・事業を行うグループ・団体への助成。

生活クラブ運動グループ地域協議会（以下「地域協議会」）が策定した「市民版地域福祉計画」の実現に向けた活動への支援。

助成事業について

対象となる申請者

インクルーシブ事業連合の会員団体*1に所属するメンバーが活動参加している団体、地域協議会を構成する団体、地域協議会のいずれかで、応募団体にインクルファンドのサポーター*2がいること。また、選考委員会（公開プレゼンテーション・ヒアリング）に参加できることを条件とします。

*1会員団体：生活クラブ生協・東京、23区南生活クラブ生協、北東京生活クラブ生協、多摩きた生活クラブ生協、多摩南生活クラブ生協、NPO法人アピリティクラブ たすけあい(ACT)、社会福祉法人悠遊、東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合、東京コミュニティパワーバンク、NPO法人市民シグナタックひと・まち社、認定NPO法人まちぼっと、東京・生活者ネットワーク

*2サポーター：インクルーシブ事業連合の運営および助成の財源を寄付で支える個人または団体

★地域協議会とは
生活クラブ運動グループの各団体が地域ごとに連携を図り、市民による、暮らしやすいまちづくりをすすめるための協議の場です。

対象となる活動・事業

- 1 新たな地域福祉事業の立ち上げ費用
- 2 地域福祉に関する地域の活動
- 3 地域福祉にかかわる事業継続のためのサポート

選考にあたり重視する点

社会貢献	共益・公益を追求している。
自主性	構成員の自発性に基づき、民主的に運営されている。
地域性	地域の課題に取り組み、地域の人を巻き込んだ活動である。
継続性	継続する活動・事業として、市民自らがすすめている。
公開性	活動内容や財務状況を自ら積極的に公開し、開かれた組織である。
運動性	社会の課題解決に向けた視点を持って活動している。

応募から助成決定、 報告までの流れ

助成月は7月・2月の年2回。
詳細は2月（7月助成分）と9月（2月助成分）に配布する、募集要項をご覧ください。

